西川町 議会だより

2026 No.138 10.15



第３回定例会…… 2頁
決算特別委員会…… 4
６人の議員が町政をただす…… 8
特集　町民の声…… 12
突撃インタビュー…… 16

令和８年９月20日（日）に、交流センターあいべで行われた間沢地区敬老会において、間沢田植踊保存会による間沢の田植踊りが披露されました。

※上記二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

令和８年第３回定例会に提出された主な議案

【人事案、条例案等】

議案番号	件　名	議案の主な内容
同意第５号	人権擁護委員の推薦	**髙橋千鶴**さん（吉川）は、令和８年12月31日をもって任期満了となるので、引き続き任命する。
議第 38 号	過疎地域持続的発展計画の変更	西川町過疎地域持続的発展計画の一部を変更する。
議第 39 号	令和８年度西川小学校屋内運動場空調設備設置工事請負契約の締結	令和８年度西川小学校屋内運動場空調設備設置工事について、株式会社佐藤建設と請負契約を締結する。
議第 40 号	西川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	特定在留カード、特定特別永住者証明書及び移転端末設備による印鑑登録証明書の申請ができるようにする。

【令和８年度各会計補正予算】

（万円単位表示にするため万円以下の端数を調整）

議案番号	会　計	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
議第 41 号	一般会計（第５号）	・テレビ共同受信施設支援等補助金 1701 万円 ・保健センター屋根防水工事等 274 万円 ・農業広告料・首都圏域特産品流通拡大促進事業 2440 万円 ・物価高騰対策事業補助金 600 万円 ・大井沢温泉館屋根修繕工事 1670 万円 ・空き家除去支援事業補助金 250 万円 ・スキー場運営施設修繕費、索道事業運営補助金 965 万円	1億 8790 万円	76 億 8650 万円
議第 42 号	介護保険特別会計（第２号）	介護給付費準備基金積立金、返還金	2225 万円	７億 8291 万円

ここに注目！ P2

令和８年第４回臨時会に提出された主な議案

【条例案等】

議案番号	件　名	議案の主な内容
承認第６号	令和８年度西川町一般会計補正予算（第３号）の専決処分	６月 20 日の豪雨で町道および林道災害復旧事業調査査定資料作成費用 900 万円を追加する。
議第 33 号	財産（小型ロータリ除雪車）の購入	小型ロータリ除雪車を3014万円で更新する。
議第 34 号	西川町みどり住宅条例の一部改正する条例の制定	西川町みどり住宅Ｇ棟の４戸のうち１戸を用途変更し、町内企業に貸し出せる部屋を拡充する。
議第 35 号	令和８年度西川町一般会計補正予算（第４号）	歳入歳出それぞれ 2344 万円を追加する。
議第 36 号	令和８年度西川町公共下水道事業会計補正予算（第１号）	人口減少に伴い、使用収入の減少や施設管路の老朽化対応への下水道経営戦略改定業務 842 万円を追加する。
議第 37 号	令和８年度西川町農業集落排水事業会計補正予算（第１号）	経営戦略改定業務 66 万円を追加する。

小型除雪車

問 小型ロータリ除雪車の使用範囲・購入目的と配備先はどこですか。

答 建設水道課
平成11年に購入した小型ロータリ除雪車の更新で、間沢～海味間の歩道や吉川の歩道除雪作業で使用します。

町営住宅条例制定

問 現在使用している居住者の生活環境変化に伴い、①事業者参入の借り上げ見通しと規模 ②町内会加入、地域活動への協力義務の明記 ③トラブル発生時の連絡先および責任の所在はどのようになりますか。

答 建設水道課
①借り上げ見通しは、４戸ぐらいと想定します。②町内会加入は町内会しだいと思います。③トラブル窓口は借り上げ事業者となります。

テレビ受信を守る

電波受信点（アンテナ）設備機器更新

令和8年 第３回 定例会

令和８年第３回定例会は９月４日から18日までの会期で開催されました。町からは、人事案件、条例案、補正予算案など27議案が提出され慎重に審議した結果、すべて全員賛成で可決しました。

一般質問は６人の議員が12件の項目について質問しました。

令和７年度の各会計決算の認定については、本誌４ページから７ページをご覧ください。

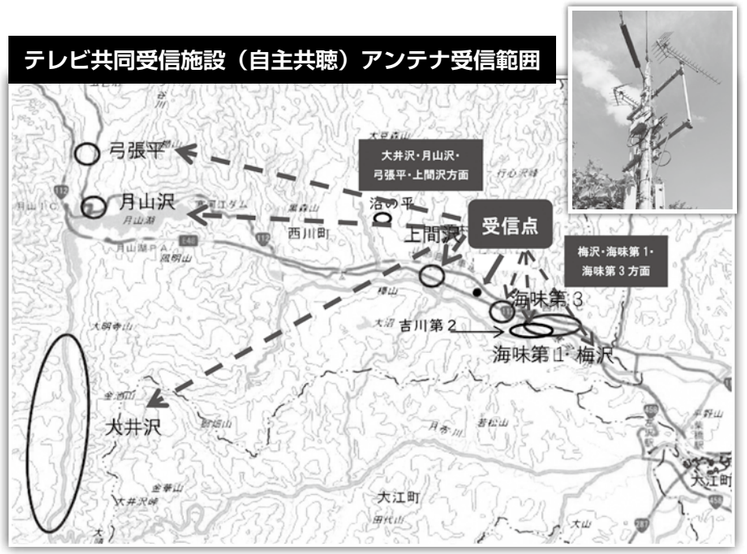
テレビ自主協聴組合

総務課

西川町の全世帯（1770世帯）のうち58.53％、1036世帯が共聴組合に加入しています。町の約５割が高齢者世帯であり、テレビ視聴は大きな娯楽の一つであり、かつ、災害時の貴重な情報ツールです。

町は８月６日に現状把握のため自主共聴組合と対話会を実施しました。組合員数の減少により金銭的負担や、積雪による光ケーブルの断線などの機器故障にかかる費用負担が増加し、点検によって設備の老朽化・腐食が激しく早急な対応が求められることから、町は電波受信点設備の機器更新に対して補助率10／10で共聴組合に補助を行うことにしました。

議会でも、２名の議員が一般質問（第２回定例会）をしました。



▲海味地区にある電波受信点（アンテナ）



大井沢方面の受信機は上間沢、月山沢、弓張平方面で受信されており重要なライフラインです。今後も設備更新などに多額の費用がかかります。感謝とともに、よろしくお願いします。

志田龍太郎さん（大井沢）



沼の平の組合は参加する戸数が減少している現状です。災害時は重要な情報ツールであることから受信施設への支援補助に感謝しています。

古沢孝良さん（綱取）



睦合方面のアンテナは、海味第１、第３町内会、梅沢第１、第２町内会でテレビの難視聴世帯が加入しています。高齢者にとって重要な情報ツールです。有難く思っています。

設楽光利さん（睦合）

決算 令和7年度会計 特別委員会【各課説明】

令和7年度の各会計決算の認定は、決算特別委員会（議長と議選監査委員を除く8名で構成）での審査に付託されました。

決算特別委員会は、9月10日から5日間にわたり各課の決算説明を受け、審査しました。その主な内容を紹介します。

月山和牛

問 月山和牛ブランド確立と観光・消費拡大を目的に、月山和牛補助金291万円で実施されましたが、事業者だけでなく、町民が購入できる制度変更と補助金対応はできませんか。

答 かせぐ課

月山和牛補助金は町内の11事業者に肉の購入額の1／2を補助しています。町の戦略としては小売りではなく、町の事業者が店内で提供する料理で月山和牛を食べていただき、町のブランド確立と観光拡大を目指すことを目的としているので、飲食店での利用を対象とした補助としています。

「ぶなのは」運営

問 「ぶなのは」運営の業務委託料に126万円執行されていますが、実施内容を伺います。

答 まなぶ課

「ぶなのは」は、子供達に学校・家庭に代わる第三の居場所を提供していこうと、令和7年度からスタートした事業です。委託先は社会福祉士の資格を持った「アクトライフ」です。どんな居場所が良いか子供達の対話会、各種イベントの開催を通じて、中高生と小学生が相互的に繋がり、そして子供達が家庭以外の人と繋がることを目的としています。



ふるさと納税

問 ふるさと納税の寄付額はどのくらい伸びていますか。

また、返礼品として新しく加わった物はありますか。

答 かせぐ課

ふるさと納税の寄付額は令和6年度の7億3410万円から、令和7年度には9億9000万円に伸びました。

また、返礼品として新しく「つるかご」「金（加工品）」「月山自然水（オリジナルデザインボトル）」が加わりました。



◀オリジナルボトル

炊き出し貸機材

問 避難所用炊き出し貸機材620万円はどのような機材ですか。また保管場所はどこですか。

答 総務課

災害時に外で炊き出しをする機材で、炊飯器・鍋等一式揃っています。防災訓練等で要請があれば貸出も可能です。

保管場所は「あいべ」南側に有事の際の非常食・段ボールベット等と一緒に保管しています。



▲炊き出し貸機材

物価高騰対策

問 つながるクーポン事業は令和7年度は電子クーポンの配布で、8年度は商品券で実施されました。これまでのクーポン事業をどのように総括していますか。

答 かせぐ課

コロナ禍の頃は紙媒体で行っていましたが、電子クーポンでの実施時は、事務処理の効率が高いとの認識です。また、利用率については、どちらも同じとの認識ですが、町民の方からは紙のほうが使いやすいとの声もいただいております。令和8年度の換金が終了してから、町民と事業者の声を聴いて判断していきます。



令和7年度のお金の使い方は

新たな観光

問 ベスト・ツーリズム・ビレッジに選ばれている西川町ですが、目玉となるコンテンツや政策はありますか。

答 観光課

王道のゴールデンルートにはない、まだ広く知られていない西川町ならではのローカルな体験を見せていく方針です。具体的には、大井沢地区で体験できる大根抜きや、大井沢自然と匠館でのものづくり体験、朝の自転車ツーリングなど、地域の自然や日常の暮らしに触れられる体験型コンテンツを充実させ、新たな魅力を発信していきます。



▲大井沢の大根抜き

病院の利用者

問 令和6年度に比べて、1日の患者数、入院患者数、病院の外来患者数が減っていますが、今後どのように増やしていくのですか。

答 町立病院

減少の要因は、人口減少に加えて、令和6年度に多かったコロナやインフルエンザなどの感染症が令和7年度は少なかったためです。今後の患者確保策としては、基幹病院（県立中央病院など）からの「下り搬送」を受け入れ、町立病院で地域包括ケアを提供していく流れを強化します。さらに、「オンライン診療」を活用していくことで、新たな患者の確保と増加を図ります。



除雪車の出動基準

問 除雪車が出動する基準はどうなっていますか。

また、融雪剤はどのような基準で散布していますか。

答 建設水道課

除雪は、路面の積雪が10㎝に達した場合、あるいは気象予報等により今後10㎝以上の降雪が確実に見込まれる場合に、安全な交通確保のため除雪作業を開始します。

融雪剤の散布の基準は、気温低下による凍結が予想される場合や、日中に解けた雪が夜間に再凍結する恐れがある場合が対象です。特に危険な坂道や橋の上などを中心に、計画的に散布しています。



寒河江ダムスポーツ広場

問 寒河江ダムスポーツ広場の利用者が年々減ってきていますが、利用者を増やすために、他課との連携や取り組みは行っていますか。

答 建設水道課

他課や関係団体と緊密に連携して取り組んでいます。利用者数向上のため、インスタグラムやホームページなどを活用し、親しみやすい形で魅力を発信しています。また、イベント時だけでなく、普段から自由に利用できる場所であるということを広く周知し、気軽に足を運んでもらえるような情報発信に力を入れています。



▲入口の案内看板

実証実験

問 「雪害見守りサービス」実証事業は、AGC株式会社（世界最大の大手素材・ガラスメーカー）や日本気象協会側からの提案であるにもかかわらず、町が55万円を支払っているのはなぜですか。

答 つなぐ課

先方からの提案であっても全額無料ではなく、町が大きなメリットを得ているため、その対価として55万円を支払っています。具体的には、町のホームページで路面の状態や雪下ろしのタイミング、天気予測を公開したり、建設会社へ除雪情報を提供したりするためのシステム運用や情報提供の費用として算定されています。



決算特別委員会【審議・採決】

令和7年度会計

9月16日、議場で決算特別委員会を開催し、令和7年度の各会計決算の認定について、審議・採決を行い、全員賛成で可決されました。

その主な質疑の内容を紹介します。

月山フォーラム

問 月山エリアの当初の目的と今ではどう変わってきたのですか。現在の活動意義をどう考えていますか。

今後のあり方について議論はないのですか。

答 観光課

月山エリアの活性化を目指して、西川町・鶴岡市・大蔵村・戸沢村・庄内町で構成しています。ココヘリの貸出事業、二次交通対策事業などで活性化を行っています。

今年度西川町が事務局ですので、今後の在り方はこれからの議論になると理解しています。



▲ココヘリとは、遭難者を早く、正確に見つける捜索サービス

商標登録

問 登録商標の手数料の決算額が0円です。本事業はどこに委託していますか。何がネックで登録が進まなかったのですか。

答 みどり共創課

西川町総合開発株式会社に委託しています。すでに「月山の恵み」で登録している業者があり、調査等で時間を要したため、令和8年度に事業の実施を伸ばしました。商標登録は、「月山のめぐみ」のロゴマークで進めています。



◀道の駅にしかわ売店

観光施設整備事業

問 月山のオーバーツーリズム未然防止対策で観光施設整備事業補助金1000万円がありますが、内容は何ですか。

答 観光課

志津駐車場舗装整備事業の補助金で、月山環境整備運営協議会へ支出しました。工事により、シャトルバスを運行するための利便性を高めました。



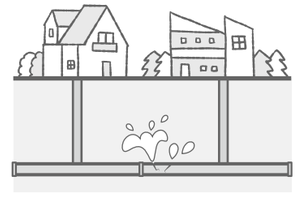
▶舗装された志津の駐車場

水道の有収率

問 有収率が前年度と比べ3・5％上昇して60・9％になったのは、漏水箇所を修理したためとのことでした。西村山郡内の他市町の有収率は70％～80％台と聞いています。西川町が低い要因はなんですか。

答 建設水道課

有収率が低くなっている要因は、漏水や施設の老朽化が考えられます。本管からメーターまでの給水管が長く、また、舗装されていない所もあって漏水が見つけにくい所もあります。



介護用品支給

問 おむつの支給は介護用品支給委託事業で実施していますが、収入には県の補助金でおむつ支給事業の交付金があります。また国庫補助金では保険者機能強化推進交付金がありますが、内容をお聞きします。

答 健康福祉課

本事業は介護保険特別会計の特別給付費の中で行っています。

県の補助金は一般会計の歳入で障がい者の自立支援に対するものです。

また、国庫補助金の保険者機能強化推進交付金は、介護保険特別会計の歳入で、保険者（町）の取り組みに対する評価の交付金であり、当町では、町独自で行っているおむつ支給などの特別給付事業に充当しています。

堅実な財政運営維持

令和7年度 決算のポイント

令和７年度の一般会計、特別会計、事業会計の９会計について、決算特別委員会での審査を経て、９月１６日の本会議で審議し、全会計決算を認定しました。議会だよりでは、知っておくべき決算のポイントを紹介します。

財政の指標などを確認

①標準財政規模　35億5247万円
一般財源の標準的な大きさを示す。

②財政力指数　0.22
1に近いか超えるほど財政に余裕がある。

③経常収支比率　80.8%
100%に近いほど自由に使えるお金が少ない。

④実質公債費比率　10.2%
25%以内は健全な状態にあることを示す。

⑤将来負担比率　0%
350%以内は健全な状態にあることを示す。

⑥基金残高合計　38億2976万円
町の貯金。様々な基金がある。

一般会計歳入のポイント

歳入総額 89 億 4876 万円

①町税全体で、1819 万円の増加
※個人及び固定資産税の増
②地方交付税が3億 3446 万円の増加
※職員給与、新地創交付金に要する経費の増
③個人版ふるさと納税が2億 9046 万円の増加

一般会計歳出のポイント

歳出総額 84 億 4894 万円

①義務的経費が 6198 万円の増加
※職員数、給与改定等による増加
②物件費が4億 5833 万円の増加
※新行政情報システム及びフロントヤード改革事業増など
③普通建設事業費が6億 3651 万円の減少
※ブレジャー対応型拠点づくり事業及び月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業費の減

行政経費の節減と効率化を

町監査委員の決算審査意見【抜粋】

町の財政状況

①一般会計歳入

町の独自財源である町税は、個人町民税は令和６年度に実施された定額減税の影響の解消による増、固定資産税は、償却資産の増加に加え破産手続き終了による滞納繰越金の収納があったことから増加しましたが、法人町民税は法人数及び法人税割の減により減少となりました。

施設整備が終了したことにより、国庫支出金が減少したものの、地方交付税、ふるさとづくり寄附金が増加し、対前年比3.8％の増となりました。

②一般会計歳出

歳出面においては、産業振興複合施設や月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業費が減少しましたが、人件費や新行政システム等の物件費、豪雨災害等に伴う災害復旧事業費の増加などが見られ、対前年比0.8％の増加となりました。



▲決算審査報告書の提出

今後の財政運営

人口減少と少子高齢化が進む中にあって、取り組まなければならない課題も多く、財政運営については、今後とも厳しい状況が続くものと見込まれます。

自主財源である町税については、増収対策や的確な賦課、徴収に努めるとともに、国、県に対しては、地方交付税など安定的な財政運営に必要な財源が確保できるよう、所要の措置を講じることを強く働きかける必要があります。

歳出については、今後も高齢者医療など社会保障費や社会インフラの老朽化対策、新規施設の維持管理費など社会資本整備費の増加が見込まれるほか、世界情勢による物価高騰に加え、異常気象による自然災害の復旧など、想定外かつ突発的な支出を要する事態が考えられます。このことをふまえ、政策についてこれまで以上の選択と集中を図り、事務事業に関する点検や公共施設等の適正な管理など、行政経費の節減・効率化に一層努めてください。

西川町監査委員
古沢　美代子
荒木　俊夫

一般質問

そこが聞きたい

6人の議員が町政をただす

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をただすのが一般質問です。
今回の第３回定例会では６人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお伝えします。

質問事項（発言順）

佐藤　大　議員……P９
1　三山電車修復車両について
2　町民スキー場の運営について

佐藤　光康　議員……P９
1　町民の権利保障と行政トップの政治姿勢について
2　「のってあべプラス」の実証運行と今後の展開について

黒田　啓　議員……P10
1　西川学園（保小中一貫教育）全体構想の進展状況と今後の方針について
2　少子化の現状を見据えた小中学校の将来の運営体制について

奥山　友幸　議員……P10
1　保育園と保育園留学の今後について
2　町の商工振興の推進について

飯野　幹夫　議員……P11
1　人口減少に伴う町職員の体制と公共施設管理計画について
2　沼山・水沢地区の課題について

大泉　奈美　議員……P11
1　社会福祉サービスの展開、福祉の業務委託について
2　部活動地域展開について

※第３回定例会の傍聴者は延べ19人でした。ご覧いただいた皆さん、ありがとうございました！

（令和8年9月末時点）



佐藤（さとう） 大（だい） 議員

三山電車は寄付採納へ スキー場は継続へ

三山電車修復車両

問　三山電車の正式な寄付採納の申し出があった際は、町は寄付採納を受けますか。

答　令和６年10月31日付けの回答の通りで、「保存方法や有効活用の具体的事項全般について、すべて町に一任することを条件に、正式に寄付採納の申し出を受けた際はありがたく承る所存です。」と記載しています。

問　所有者は10月中に寄付申し出を正式に済ませるよう進めます。よろしいですか。

答　所有者の意向に沿って進めるべきと考えています。



▲三山電車修復車輌

スキー場の運営

問　運営会社からは、１８００万円の補助があれば今年度の運営は可能であるとの提示がありましたが、どう対応しますか。

答　町としては運営に向けて、補助金額４００万円の増額補正を９月議会に計上しています。

問　スキー場の経済効果・維持管理計画の適切性・運営会社の自助努力を検討して、町は運営方針を策定したのですか。

答　令和７年度の経済効果１６５０万円を基にして経費を差し引くと、令和８年度から11年度まで毎年赤字ですが、経済効果を上げれば黒字に逆転できる数字でありますので、令和11年度までは継続して行きたいと思っています。



佐藤（さとう） 光康（みつやす） 議員

町民の権利保障は のってあべプラスの実証運行は

情報公開制度

問　町に情報公開を請求して記載漏れがあった場合、その場での速やかな対応が求められますが、本件では２週間近く過ぎた後に連絡しています。この対応は適切でしたか。

答　当時、情報公開担当者が不在で、すぐに対応できませんでした。その後、担当者が精査・調査をし申請者に電話で連絡しました。

内部公益通報制度

問　町でのホームページでは匿名での通報も可能と記載されていますが、通報様式や問い合わせフォームでは氏名・住所などの入力が前提となっています。これでは、通報者の意図した匿名性が阻害され、通報の躊躇（ちゅうちょ）につながりませんか。

答　通報様式に氏名・住所欄がありますが、手書きでの申請書ですので、匿名でもできると捉えています。問い合わせのメールフォームは通報のものと誤解される恐れがありますので削除します。

のってあべプラス

問　８月の利用実績はどうなっていますか。

答　西部エリア２件、東部エリア17件合わせて19件です。

問　町内の高齢者には指定拠点施設に含まれない専門医療機関などに通院している方がおられます。町民からの要望を反映し、拠点を柔軟に見直す考えはありませんか。

答　国の実証事業ですので年度途中での拠点変更などはできないことになっています。

少子化の現状を見据えた小中学校の将来の運営体制を問う



黒田（くろだ） 啓（ひらく） 議員

5年後の生徒数

問 令和13年度の小学校・中学校の予想される生徒数を伺います。

答 令和13年度の予想される生徒数は以下の通りです。
小学校　全校91人
6クラス（15人／クラス）
（※36人減）
中学校　全校59人
3クラス（20人／クラス）
（※9人減）※比令和8年度

施設一体型校舎

問 西川小学校を施設一体型校舎に対応させるには、どのような改修が必要でしょうか。

答 生徒数の実数を把握しないと正確には申し上げられませんが、国の定める中学校の設置基準に沿って、施設一体型校舎として対応させるには、職員室の拡張、特別教室の高機能化改装、トイレ手洗い場の改修工事等が必要になります。

学校運営の方向性

問 将来の学校運営の方向性を検討する時期にきていると思いますが、協議会・対話会の立ち上げの考えはありますか。

答 令和13年度までに年間出生者数10人を維持できないと8年先には複式学級対応となります。町としては保小留学制度を総動員体制で促進し、移住政策を進めていきますが、一方でこの状況を受け入れて、仮説の予想を立て対応方針を検討すべく、適切な時期に、町民対話会・協議会を通じて方向性を考える時期に来ていると認識しております。



▲西川小学校

保育園と保育園留学の今後は町の商工振興の推進は



奥山（おくやま） 友幸（ともゆき） 議員

園児激減への対策

問 園児数が71名、稼働率41・7％に激減する中、職員の任用替えや削減など、財政負担への対策はありますか。
　また、保育園留学のリピーター率27・5％という実績は現場の保育士の努力の賜物であり、町は雇用確保と園の存続に全力を尽くすべきです。「保育園留学」のさらなる拡大策と「英語教育」の導入計画について見解を伺います。

答 手厚い保育は本町の強みであり、現時点で職員削減や任用替えは考えていません。
　「保育園留学」は、保育士の雇用確保のためにも、目標の達成に向け広報を強化します。保育園の「英語教育」は来年度に実証実験を行い、2年後には導入します。

新戦略で人流創出

問 新築着工数が減少する中、地元建築業者は大変厳しい状況です。思い切った新築支援はありますか。

答 思い切った新築支援の制度作りに努めて参ります。

問 モンベル誘致の具体的な道筋はありますか。
　また、月山湖で、なぜワカサギ釣りなのですか。

答 特定企業の出店を前提とせず、二つの百名山や月山湖などの地域資源を活かしたビジターセンターを含む、拠点・情報発信地の基本構想を進めます。
　漁協の放流や試し釣りをふまえ、安全なワカサギ釣りの事業化を実施します。

人口減少に伴う職員体制は町道の復旧工事は



飯野（いいの） 幹夫（みきお） 議員

人員適正化計画

問 人口減少に伴う町職員の人員適正化計画はありますか。

答 現時点では、該当する計画はありません。今後、第7次西川町総合計画改定の中で人員適正計画を策定したいと思います。

公共施設管理計画は

問 保健センター・あいべ・水道管理センター・役場の4ヵ所に分かれている建物の集約化、および旧小中学校の建物を今後、どのように活用する考えですか。

答 集約化を考えると、町民税務課・健康福祉課を統合し、保健センターを使用しない、また水道管理センターを他に活用するなどが考えられます。

水沢岩根沢線

問 町道水沢岩根沢線は職員の努力で仮復旧工事により、冬季間は通行できるとのことですが、春からの本復旧工事に伴う迂回路は悪路・遠距離にて極めて不便です。配水場付近に臨時迂回路の検討はできませんか。

答 コスト面では、それほどかからないと思いますが、水道管埋設ということと、急傾斜による坂道の安全面について考えることが必要です。現場を視察して検討します。



▲町道水沢岩根沢線の仮復旧工事

社会福祉サービスの展開は部活動地域展開は



大泉（おおいずみ） 奈美（なみ） 議員

災害ボランティア

問 災害ボランティアの受付は、健康福祉課と社会福祉協議会が連携してマニュアルを作成していますか。
　また、ボランティアセンターの立ち上げ訓練などは行っていますか。

答 町の防災計画により、連携しマニュアル作成、ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行っています。

ミニデイ・サロン

問 ミニデイサービス・いきいきサロンの成果と課題を伺います。

答 ミニデイサービスは、令和7年度は25地区で延べ140回開催し、延べ2907人の参加、いきいきサロンについては、7か所開設し、延べ977回開催し、延べ6560人の参加になりました。課題としては、両事業へ参加されていない方への対応です。

認定地域クラブ制度

問 令和8年7月に、西川町認定地域クラブ制度の説明会が開催されていますが、目的と内容をお聞きします。

答 今後の展開を考慮し、推進計画・地域クラブの認定・支援体制整備の進め方や、認定基準、安全管理などの制度を説明して、意見をお聞きしました。

部活動の種目別要望

問 部活動の各種目別対話会での要望を、どのように対応するか主な現状を伺います。

答 他指導者謝金や運営補助については、今年度予算の範囲内で早急に執行していきたいと考えております。公平性の担保については、慎重に議論しなければいけないと考えます。

特 集
町民の声

三山電車に関わり合いのあった方々にお話を伺いました。

三山電車 寄付採納へ

※寄附採納とは、個人や団体が所有する財産や物品を公共機関に寄付し行政が正式に受け入れる手続き

現在、設楽酒造店「月山の酒蔵資料館」にある三山電車（モハ103）は、昭和49年の山形交通三山線廃止後、現在の場所に移され屋外展示されています。後年になって、経年劣化と雪の重みとで屋根が破損してしまいました。

三山電車保存会は令和6年にクラウドファンディングを実施し修復工事を行い、同年8月に町へ寄付採納の要望書を提出し、10月に回答書をいただきました。その後話し合いを重ねましたが、寄付採納までには至らず、約2年が経過しています。

このたびの第3回定例会の一般質問において、町は三山電車の修復車両を持ち主である設楽酒造店から寄付を受けるとの回答がありました。

寄付採納後の扱いは町へ委ねられますが、議会としては、これからの維持管理と有効な活用を期待します。



青山　壮さん（吉川）
クラウドファンディング事務局

西川町の産業・観光において、三山線が担った役割は計り知れません。

今回のクラウドファンディングを通して、全国から「モハ103の希少性」と「三山線の記憶を残したい」といった支援者の声をひしひしと感じました。

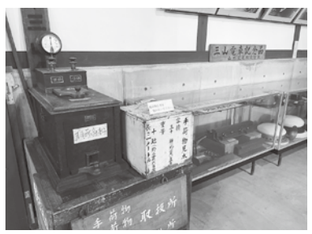


柴田庄一さん（睦合）
当時の山形交通社員

昭和37年に入社したころ、町の人口は1万人を超えていました。

三山線は羽前高松駅から左沢線に直結しており、鉱物、木材などは関東方面に運ばれて行きました。また、通勤通学の足となり、さらには三山参りのお客様でにぎわいを魅せていました。

現在は車社会となりましたが、町の経済発展の遺産として認めていただければと思います。



▲電車関連資料

三山電車修復車両（モハ103）・レール・ポイント等を含め、付属品として60点ほどあります。今後の管理を含め外部環境はボランティアなど、みんなで残していかなければならないと思います。

指定文化財として付加価値を上げて、観光面でも活用していただければと思います。



古沢勝廣さん（間沢）
三山電車保存会会長

三山電車モハ103修復工事

大正15年の開業時に入線した車両（モハ103）は、令和6年に修復工事を行いました。



▲修復工事

町の文化財登録で国から交付金を

歴史のある物や、希少価値のある物を、町の文化財に登録し、国へ申請して認可されると1点に付き毎年1万円の特別地方交付税が交付される制度があり、町文化財の維持管理の費用に充てられます。

町は電車関係の資料を登録するため、調査を開始しました。



◀修復された車両

議会活性化特別委員会 報告

活性化特別委員会では、第1小委員会と第2小委員会に分かれて協議を行っています。

第1小委員会では議会の根本理念である議会基本条例、委員会条例、議会会議規則、傍聴規則などの見直しについて、第2小委員会では、議員のなり手不足の解消、町民に分かりやすく開かれた議会運営、議員定数や議員報酬の見直し、議員の個人研修などについて調査検証を行い、合同委員会において各小委員会での進捗状況の報告・意見交換を行い、方向性を検討しています。

経　過

7月21日	第4回委員会	第1小委員会	条例・規則の見直し
		第2小委員会	開かれた議会、定数、報酬の調査
7月31日	第5回委員会	合同委員会	調査検証の進捗状況について
8月18日	第6回委員会	第2小委員会	調査検証
8月19日	第6回委員会	第1小委員会	条例・規則の見直し
9月　7日	第7回委員会	合同委員会	アンケート調査の検証
9月24日	第8回委員会	第1小委員会	条例・規則の見直し
		第2小委員会	アンケート調査の検証
10月　2日	第9回委員会	合同委員会	情報共有、アンケート調査の検証

アンケート調査のお願い

1　調査の目的

西川町議会では、「議員のなり手不足の解消」、「町民に分かりやすく開かれ議会運営」、「議会の強化」、「身近で信頼される議会」を目指しこれかの町議会を考えていく上で、町民の皆様方から幅広いご意見をお伺いすることを目的として、町民アンケートをお願いすることといたしました。

2．調査項目

1. あなた自身について
2. 身近で信頼される議会について
3. 町民に分かりやすく開かれた議会運営について
4. 議会機能の強化について
5. 議員のなり手不足対策について



3.　調査対象者

1. 調査地域　　西川町全域
2. 調査対象者　西川町在住の18歳以上の男女

※アンケート配布は11月16日の予定です。
※調査期間、調査方法、配布回収方法などの詳細については配布するアンケートに記入いたします。

他市町村での町づくりを学ぶ

総務厚生・産業建設常任委員会合同行政視察研修報告

8月3日～5日にかけて行政視察研修では、徳島県神山町・上勝町・那賀町・板野町の4町を訪問して、それぞれの視察先で熱心に取り組んでいる事業について学ぶことが出来ました。
山間地域の特徴を生かした町づくり、官民連携などこれからの町づくりの原点を学べた視察となりました。

神山町

■神山まるごと高専

ふるさと納税による教育応援事業として、2023年4月に神山まるごと高専（デザインエンジニアリング科）を開校しました。全寮制の高等専門学校であり、1学年40人の5年制で定員は200名、入試倍率は10倍程度、学費はほぼ無料となっています。町は補助金を交付しており、その財源はふるさと納税（寄付）で、95％を高専支援に活用しています。また、全寮制であることから200名の学生全員が町民となっています。

■林業活性化

「神山町林業活性化協議会」を立ち上げ、「人材育成の充実・認定者制度の導入・林業体験授業・森林所有者が森林活性化について積極的に取り組むための支援」を行っています。
森林経営管理事業について、国の補助に該当しない場合（伐採、搬出、整地、新植等）でも、町が同額の補助を実施して支援しています。


▲神山町での研修

◎所見◎
廃校舎や土地の有効利用を図り、人口対策・若者増加、町内経済・交流活性化に寄与しており、官民学が連携した事業でした。
また、林業の活用については、町単独の支援のほかに、将来の担い手育成を見据え、中高生に向けた体験の場を積極的に提供していました。

上勝町

■有償ボランティアタクシー事業

2003年の町内タクシー業者廃業を契機に導入された、一般町民が自家用車で有償運送を行う仕組みです（第二種運転免許は不要）。運賃は通常のタクシーより約20％安く設定されています。現在、登録ドライバーは46名で、町民のほか県外からの来町者も利用できます。

■葉っぱビジネス

1986年に葉っぱビジネス「いろどり」としてスタートし、現在のラインナップは南天やもみじ、柿の葉など約320種に及んでいます。高品質な商品が求められる中、生産者が自ら苗木から育てて出荷しています。
体力的な負担が少なく高齢者でも取り組みやすい仕事でありながら、収入増が大きなやりがいにつながっています。生産から流通までを支えるシステムが見事に構築されており、官民一体となった事業展開が特徴です。

■ゼロ・ウエイスト事業

1998年に焼却炉設備を設置しました。しかし、2000年にダイオキシン問題が生じたため、一時的に事業者に焼却処分を委託したところ、多額の経費が発生しました。そのため、2003年に「ゼロ・ウエイスト宣言」を行い、ゴミの分別を開始しました。
現在は46種類に分別し、リサイクル率は81％に達しています。残りの19％のうち、ゴムや保健衛生上問題になるものなど3種類については事業者が処分しています。

◎所見◎
町内では、タクシー業者の廃業に伴い始まった有償ボランティア事業が、行政の補助と団体の努力によって重要な移動手段として成功を収めています。
また、大寒波を契機とした葉っぱビジネスの創出や、高齢者が主体的に使いこなす先進的なIT活用など、地域住民の意欲的な取り組みが展開されています。
さらに、ゴミ収集車を走らせない先進的なゼロ・ウエイスト事業など、町民一人一人の深い理解と協力に支えられた持続可能な地域づくりが行われていました。


▲上勝町での研修

板野町

■徳島木のおもちゃ美術館

美しい自然の魅力、そして徳島の木の伝統や文化を幅広い世代に知ってもらうため、「徳島木のおもちゃ美術館」が誕生しました。
施設の特徴として、「集いの空間・木育の空間・にぎわい発信の空間・遊びの空間・体験の空間」に分かれています。

◎所見◎
県内外から幅広く利用されていて、徳島の木の伝統や文化も体験・習得できる建物で、子育て世代の利用拡大につながると感じました。


▲木のおもちゃ美術館

那賀町

■小中一貫校の取組み

平成9年に開校した木頭（きとう）学園は、4つの教育目標のもと、9年間を見通した小中一貫教育を推進しています。
異学年交流や連携した指導体制を柱に、低学年での「地を知る学び」から始まり、「地域を体感し」「地域に貢献する」段階的なふるさと学習を実践しているのが特徴です。これにより、上級生が下級生を思いやる心や主体性が育つ大きな成果を上げています。
今後は教育課程をさらに充実させるとともに、地域との連携やICT活用を一段と推進し、子どもたちが地域に誇りを持って未来を主体的・創造的に切り拓く学校づくりを目指しています。

町の「ふるさと留学制度」支援
・ふる里回帰留学制度
4万円／月
・ふる里創り留学
4万円／月
・ふる里山村留学
4万円／月
（3つの留学支援を実施し、これまで24人が利用しています）。

◎所見◎
段階的なふるさと学習と異年齢交流は、愛郷心と主体性を育む優れた仕組みです。本町の教育課程の充実や地域連携、ICT活用を検討する上で大変参考になる事例でした。


▲那賀町での研修

議会の動き

議会全員協議会
■9月4日 令和7年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率ほか
■9月29日 第3回校正
■10月2日 第4回校正
■10月6日 第5回校正、校了

議会運営協議会
■7月21日 令和8年第4回臨時会の運営
■8月25日 令和8年第3回定例会の運営

総務厚生常任委員会
■8月3～5日 常任委員会合同視察研修
■9月7日 行政評価ヒアリング
■10月1日 行政評価項目とりまとめ

産業建設常任委員会
■8月3～5日 常任委員会合同視察研修
■9月7日 行政評価ヒアリング
■9月30日 行政評価項目とりまとめ

広報公聴常任委員会
■9月7日 議会だより138号の入稿前編集会議
■9月18日 第1回校正
■9月25日 第2回校正

決算特別委員会
■9月4日 審査日程の確認
■9月10日 決算説明、質疑（企業特別会計）
■9月11日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月12日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月14日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月15日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月16日 付託案件の審議

議会活性化特別委員会
■7月21日 第4回議会活性化特別委員会
■7月31日 第5回議会活性化特別委員会
■8月18日 第6回議会活性化特別委員会
■8月19日 第6回議会活性化特別委員会
■9月7日 第7回議会活性化特別委員会
■9月24日 第8回議会活性化特別委員会
■10月2日 第9回議会活性化特別委員会

議会傍聴のご案内

面倒な手続きは何もありません。ぜひお気軽に！
次回定例会は12月です
（12月7日からの予定）

議場で行う本会議や特別委員会はインターネットで中継しているほか、過去の映像を視聴することもできます。ぜひご覧ください。
議会や議会だよりについて「知りたい！、聞きたい！」という場合は、お気軽にお問い合わせください。 メール：giji@town.nishikawa.yamagata.jp

発行／山形県西村山郡西川町議会　編集／広報公聴常任委員会
〒990-0792 山形県西村山郡西川町大字海味510 TEL 0237-74-5055 FAX 0237-74-2601 印刷／寒河江印刷㈱

突撃インタビュー

和晃会

阿部　松子さん（海味）
木村　睦子さん（海味）
福島　弘子さん（海味）
菊池みえ子さん（海味）



結成40年を迎える日本舞踊のサークルです。「あいべ」等を会場に月に1回練習を行っています。町の文化祭・花火大会・ミニデイで、踊りを披露しました。ご依頼があれば、どこへでも馳せ参じます。

町議会へ

第三回定例会の一般質問を傍聴しました。議員の質問と町の答弁の真剣なやり取りを通じて議場の緊張感が伝わってきました。また傍聴します。

第１分団女性部

小川美佐香さん（海味）
佐藤　幸子さん（睦合）
佐藤　武美さん（入間）
阿部あつ子さん（間沢）



団員の減少もある中で今年度4月から2名の入団があり、団員一同喜んでいます。月2回の広報活動や、西川町総合防災訓練では、救急救命等の訓練を行いました。女性部、力を合わせて頑張っています。

町議会へ

これからも女性部の活動頑張りますので、応援よろしくお願いします。



白田里英さん（入間）

月山の恵みを味わえる、道の駅にしかわレストランへぜひお越しください。自慢の月山和牛を使った牛丼やビーフストロガノフに加え、地元のキッタロ珈琲とコラボしたオリジナル豆のコーヒーシェイクなど、地域の美味しい魅力を揃えてお待ちしています。

町議会へ

日頃より町政への多大なるご尽力をいただき感謝申し上げます。皆様の活動が地域の力に繋がっています。これからも共にがんばりましょう。



菅野　清さん（間沢）

現役を引退して、老後の楽しみで和太鼓とエレキギターをやっています。披露する機会がたくさんあって楽しんでいます。間沢の敬老会でも披露しました。これから町の文化祭でのステージがありますので楽しみにしています。

町議会へ

議員のみなさんは、各地域の行事には積極的に参加していただきありがとうございます。地域の人とふれあい、いろいろお話していただければと思っています。



荒木育英さん（沼山龍神會）

今年も沼山龍神會による、水掛け神輿渡御を行いました。地域おこし協力隊など多くの皆さんからのご協力をいただき盛大に行うことが出来ました。ありがとうございました。

町議会へ

町で全戸に配布しているタブレット「つながる君」活用ですが、緊急時連絡のみでなく、防災訓練・予防週間など幅広い活用を進めてください。

表紙から1コマ



ご長寿を祝って

間沢地区敬老会は4町内会、92名のみなさんが一堂に会し、ステージでは和太鼓・三味線・田植踊りなどが披露され、会食をしながら楽しいひとときを過ごしました。

久しぶりにお会いする方もいて会話も弾み、またカラオケを熱唱する方もいるなど大盛況でした。

みなさまのますますのご健康と、ご長寿でありますことを願います。

編集後記

月山の残雪がまぶしかった4月から実りの秋の10月を迎えました。この半年間、大井沢や岩根沢の美しい道を歩き、綱取地区でなめこの菌打ちのお手伝いをするなど、西川町の豊かな自然と人々に触れてまいりました。歩く先々で出会う温かい町民の皆様との触れ合いや、地域に息づく独自の暮らしの中には、私たちが未来へ繋ぐべきこの町の大きな可能性が満ち溢れていると改めて実感しております。

これからもこうした日々の感動を、皆様へ分かりやすく丁寧にお伝えできるよう励んでまいります。朝晩の冷え込みが一段と厳しくなる季節ですが、お体に気をつけて実り多き秋をお過ごしください。

（奥山　友幸）

《発行責任者》
議　長　菅野邦比克
《編集委員》
委員長　飯野　幹夫
副委員長　大泉　奈美
委　員　佐藤　大
委　員　黒田　啓
委　員　奥山　友幸